

発行所  
長野県保険医協会  
〒380-0928 長野市若里 1-5-26  
電話 026-226-0086  
FAX 026-226-8698  
E-mail nagano-hok@doc-net.or.jp  
年間購読料 3,600 円  
会員の購読料は会費に含まれています



2022年(令和4年)8月25日  
No.498 (毎月1回25日発行)  
(1990年6月22日第三種郵便物認可)  
主な記事  
医科診療報酬アンケート…2面、中医協動  
向、歯科用金属価格改定…3面、保険かわ  
ら版、理事会便り…4面

## 杉尾議員再選後の初懇談

「コロナ感染して医療崩壊を肌で感じた」

8月21日、県保険医協会は7月の参議院選挙で再選した杉尾秀哉参議院議員(立憲)と再選後初めての懇談を行った。宮沢会長、林副会長が現地参加し、副会長4名がWeb参加した。

杉尾議員は自らが新型コロナに感染し自宅療養した体験も交え、コロナ対策や物価高騰下での消費税減税の必要性や高齢者の窓口負担の2倍化問題、マイナンバーカードと保険証の一体化



懇談の様子(中央:杉尾議員)

など、選挙前に保険医協会が行った候補者アンケートの内容を中心に意見交換を行った。

杉尾議員は10月から実施が予定されている後期高齢者2割負担導入について「受診控えを招き、健康状態がより悪化した場合に医療費の相対的な削減になるのか」という根本的な問題や昨今の物価高騰による経済状況を考慮すべき。延期法案を出して賛成されるのが一番いいが、2割化された際には何とせよ1割に戻せるようにしたい」と話した。

池上副会長から「1割に戻す法案を出す際に予算の出所にアイデアはあるか」との問いに対しては、「法人税・所得税の累進強化や金融所得

課税、資産所得課税などの税体系全体を見直すことで、消費税減税も含めて十分に実現可能と思っている」と回答。また、『消費税を上げて社会保障を充実させる』と謳いながら実際には社会保障を縮小し、法人税や個人所得にまつわる税は軽減し続けている政府の虚偽的な姿勢を批判するとともに、「政権交代の際には税制度の見直しと消費税減税は必ず行いたい」と意気込んだ。

マイナンバーカードの保険証一体化については「莫大な税金を使ってシステム導入を強制したりポイントを配ったりするのは愚策。政府の目的は資産情報を含む国民の全ての情報を一元管理することであり、将来的にはクレジットカード機能までも一体化させようとしてくるだろう」と強引な施策に反対した。

新型コロナ対策については、自身が感染し自宅療養していた経験について「祝日の当番医受診時に防護服を着た看護師さんが炎天下

の駐車場で大勢の患者に対応していた様子や、保健所の健康観察の連絡が高齢者の自分にも一切なく不安に感じたことなどを通じ、医療崩壊を肌で感じた」と話し、現在の状況はこれまで政府が医療効率化や費用削減を推し進めた結果だと批判した。

かかりつけ医制度については「身近に相談できるかかりつけ医ができるのは良いことだが、かかりつけ医以外の病院等にいきなり受診すると高額な医療費を請求されるようなフリーアクセス制限に繋がる仕組みになってはいけない」と話した。

懇談は30分延長の長丁場になったが、杉尾議員の保険医協会の活動への協力体制を再確認できる懇談となった。



Web会議システムの様子(左上:杉尾議員)

## 「今次改定を評価しない」約4割

【医科】2022年度診療報酬改定アンケート集計結果

長野県保険医協会では、2022年度医科診療報酬改定に対する現場の声を集めるため、会員の医科医療機関に対してアンケートを実施した。6月3～20日にかけて行い、561名中86名から回答を受けた(回収率15.3%)。外来感染対策向上加算などの新設点数やオンライン診療・リフィル処方箋などについて届出状況や評価するかなどの質問項目を設けた。設問2以降については2面を参照されたい。

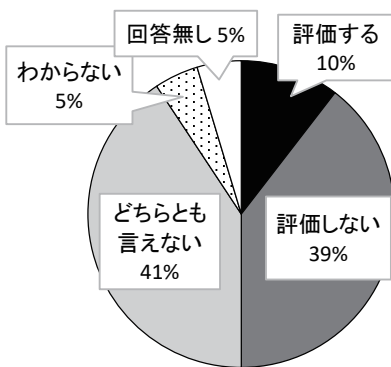
— 回答者86名の診療科・勤務形態(内訳) —

内科47(54.7%)、整形外科・精神神経科各8(各9.3%)、外科6(7.0%)、眼科5(5.8%)、耳鼻咽喉科3(3.5%)、産婦人科・小児科・皮膚科各2(各2.3%)、無回答2(2.3%)、その他1(1.2%)

勤務形態	件数	割合
病院	4	4.7%
有床診	3	3.5%
無床診	60	69.8%
回答なし	19	22.1%
計	86	100%

### 1. 今次改定を評価しますか？

(右表)今次改定の改定内容や点数など全体的な評価については、「どちらとも言えない」の回答が最も多いものの、「評価する」はわずか1割に留まり、一方で「評価しない」は約4割と圧倒的に多い結果となった。



## オンライン請求システムの障害に対し、審査機関などへ要望

4月及び5月に診療報酬のオンライン請求システムに大規模な接続障害が発生したことを受け、県保険医協会は厚生労働大臣並びに審査機関に対して厳格な対応等を求める要望書を7月27日付で送付した。

相次ぐシステム障害に対して、(1)改めて事故原因の究明及び分析、再発防止策を明らかにすること、(2)今後

システム障害が起きた場合には、速やかに医療機関等に周知し、原因と復旧状況を見える化すること、(3)事故が発生した場合の対応方法及び受付期間の延長をルール化すること及び厚生労働省に対して、(4)相次ぐシステム障害を重く受け止め、社会保険診療報酬支払基金及び国民健康保険中央会に対して行政指導を行うことを求めた。

## 新型コロナの影響で休診した場合はご連絡ください

長野県保険医協会では、災害等見舞金規定により会員医療機関が新型コロナなど指定感染症の影響で休診した場合にお見舞金を支給しています。会員本人が感染したかどうかに関わらず、新型コロナ等の影響により休診した場合に、1回に限り1万円を支給します。2021年3月17日以降の休診が対象です。該当する場合は事務局(Tel. 026-226-0086)までご連絡ください。

## 鶏声

暑中お見舞申し上げます。戻り梅雨後のこの暑さには参りますね！予想していたコロナの第7波が津波の様に押し寄せています。医療は崩壊の瀬戸際に立たされようとして

いるのではないのでしょうか？「経済を回す」、経済優先すべしとの浅はかな考えで検査を緩め、「三密ダメ」の掛け声も著しくトーンダウンしてしまつた結果が現在の状況を生み出しているのではないのでしょうか？国民の命と健康に対して適切にお金を使つて来なかつたことも要因ではないでしょうか？例のマスクの製作及びその処分に費やした金額には呆れてしまいましたが、又この事に限らず「変だぞ、真相を明らかにすべき」と声を上げる国民の何と少ないことにこの国の行く末を案ずる感情を抱いた方も多からうと思えます。本コラムの6月号を執筆された先生の言われるように日本は三流国家へと沈んでしまつたのではと心配になります。◆次に私が感じた強い違和感に、世界各国のCO2削減策です。人々の交通手段としての自動車からエンジンを外し、ガソリンスタンドを電気スタンド??にせよとの考えです。ならば、F1、WRC等のモータースポーツを直ちに止めること。民間旅客機による運行数を少なくとも現行の4分の1位に減らすべきです!! LCCなんて絶対失くすべきです。戦争、軍事紛争は即時停止は無論、他国の水域、領空を不法に侵す行為も止めるべきである。領空侵犯に対するスクランブル発進時に費やす燃料を想像すると「ヤメロ!!」と叫びたいです。(E・J)